

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30 31 34	○入居者の高齢化、認知症の重度化により、体調をくずすことが多くなっている。 また、症状を適切に訴えることができない利用者が多く、異常を見逃しやすくなっている。	利用者の健康管理を全職員で取り組み、異常の早期発見、早期対応が迅速にできる。	①バイタル測定、食事、水分等チェック表を活用し、体調管理をする。 ②研修により全職員が体調管理、異常時早期対応に関する理解を深める。 ③医療機関受診時、主治医に体調を適切に伝え、内服薬支援をしていく。	6か月
2	32 33	○利用者が入院した際、病状の回復後できるだけ早期に退院できるように情報交換、相談をしているが、リハビリ等により入院期間が長くなり、ADL低下、認知症が進行している。	可能な限り健康的に利用者本位の生活が送れる。	①入院した際、病院関係者と情報交換や相談に努め家族との連絡を密にし早期退院に向け支援していく。 ②入居時及び利用者の状態に応じて、重度化や終末期のあり方を家族等と話し合い、望む生活ができるように支援していく。 ③医療機関、家族からの情報は職員全員周知できるように報・連・相、記録を徹底する。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。